

拡声器での演説例

〇〇町のみなさんこんにちは。私（たち）は△△です。本日は、「首都圏反原発連合」が作成した「あなたの選択キャンペーン」チラシを配布しています。ぜひご覧下さい。

政府による福島原発事故の「収束宣言」によって、「もう事故は大丈夫」と思っている方もいるかもしれません。しかし、福島原発は毎日汚染水がもれつづけ、危険な状態が続いています。避難している人は15万人にのぼります。地震国日本では、どこでも同じような事故が起こる可能性があります。

このチラシには、各政党の原発に対する政策・態度がかかれています。いま、原発をなくすのか、それとも再稼働するのかが鋭く問われています。ぜひ、このチラシを読んで、皆さんに、原発のない未来を選択していただくことを心からお願いします。

みなさん。福島原発の事故は、放射能の問題をはじめ、子どもたちに大きな被害と不安をもたらしました。子どもたちの未来のために、いまこそ原発をなくす決断をするときではないでしょうか。世論調査でも、原発の再稼働反対や脱原発は過半数を超え、多数の世論となっています。

政府は、原発を再稼働させ、輸出をすすめようとしています。原発ゼロの未来をつくるために、私たちがいまこそ決断すべきときです。配布しているチラシには、原発の廃止、再稼働や原発輸出などの各党の評価の一覧を掲載しています。ぜひお読みいただき、原発をなくす選択をよびかけます。

みなさん。いま、日本で動いている原発は福井県の大飯原発2基だけです。原発がなくても電気が十分に足りていることが証明されました。関西でも、大飯原発が動いていなくてもその他の電力で十分にまかなえることが、様々な試算で明らかになっています。日本全国で、原発がなくても電気は足りています。

（7月8日に規制基準が施工されたあと）みなさん。電気は足りているのに、電力会社はいっせいに原発の再稼働を申請しました。ふたたび原発を動かすのかどうか問われています。子どもたちの未来のためにも、もう原発は必要ありません。

いまこそ、原発ゼロへと足を踏み出すときです。配布しているチラシをよんでいただき、誰が原発を推進しようとしているのか、誰が原発をなくそうとしているのかをよく見極めていただき、皆さんの選択をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

（最後に）ご近所の皆さん、商店の皆さん、たいへんお騒がせいたしました。私たちの宣伝行動を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。（できれば、近隣の商店などにお騒がせしましたと、お礼に回るとよい）